

札幌市自殺総合対策行動計画 2024（案）に対する意見の概要と札幌市の考え方について

1 パブリックコメントの概要

（1）意見募集の概要

「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指してとりまとめた「札幌市自殺総合対策行動計画 2024（案）」について、市民から意見を広く募集しました。

いただいたご意見を参考に、当初案を一部変更しました。

（2）意見募集期間

令和5年（2023年）12月21日（木曜日）から

令和6年（2024年）1月25日（木曜日）まで（36日間）

（3）意見提出方法

郵送・持参・FAX・電子メールなど

（4）計画（案）の配布、公表場所

札幌市精神保健福祉センター

札幌市役所本庁舎2階市政刊行物コーナー

各区役所（総務企画課公聴係、保健福祉課）

各まちづくりセンター

札幌市公式ホームページなど

市政等資料番号
02-F04-24-726

2 パブリックコメントの意見に基づく当初案からの変更点

市民の皆様からいただいたご意見をもとに、当初案から1項目修正しました。
ご意見は趣旨が変わらない程度に要約しています。

・修正内容

修正箇所	本書P.72 第6章2 施策7 子ども・若者の自殺対策を更に推進する
修正前	4 (1) 実際の学校現場で発生する問題等の重層化・複合化に対し、自殺対策に関するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの資質の向上、地域連携体制の向上などを目指す観点から、学校現場でのこれらの支援者に対し、精神科医や弁護士などの専門家のチームが支援する仕組みを作り、 <u>リスクの高い子ども</u> の自殺者数ゼロを目指します。
修正後	4 (1) 実際の学校現場で発生する問題等の重層化・複合化に対し、自殺対策に関するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの資質の向上、地域連携体制の向上などを目指す観点から、学校現場でのこれらの支援者に対し、精神科医や弁護士などの専門家のチームが支援する仕組みを作り、 <u>子ども</u> の自殺者数ゼロを目指します。

・修正の元になった意見

意見の概要	「リスクの高い子どもの自殺者ゼロを目指します」とあるが、リスクの高低に関わらず、子どもの自殺は、ゼロを目指すべき。(40歳代)
札幌市の考え方	「リスクの高い子ども」という表現は誤解を招く可能性があるため、ご意見を踏まえ記載を修正します。

3 パブリックコメントの意見の概要と札幌市の考え方

ご意見は趣旨が変わらない程度に要約しています。

(1) 第6章 施策の展開

意見の概要	みんな自殺をしたいから自殺行為を行うのではなく、自分の場所がないため自殺行為を行いたいと思う。同じ悩みを共有できる友人や、支援者のおかげで立ち直ることができるので、そのような立ち直りの場を作ることを施策として行って欲しい。(50歳代)
-------	---

札幌市の 考え方	<p>ご意見のとおり、人が命を絶たざるを得ない状況に追い込まれることを防ぐためには、自殺を考えている人の思いに寄り添い、話を聞き、見守ってくれる周りの人や専門家、支援者の存在が重要だと考えます。</p> <p>引き続き、自殺対策に係る人材の確保・養成及び資質の向上を図るとともに、身近な地域において、困りごとのある人に寄り添った支援体制が整うことを目指していきます。</p>
-------------	---

意見の 概要	<p>本書 45 ページの重点施策の位置付けについて、自死遺族は、後悔や懺悔心などから、自殺リスクが高いと考えられるので、自死遺族者支援について重点施策に位置付け、施策の充実を目指すべき。(40 歳代)</p>
札幌市の 考え方	<p>ご意見のとおり、自殺により遺された人は、亡くなった人を差し置いて自分自身がケアを受けることへの抵抗感を抱いてしまう面などがあることから、自死遺族等に対する支援の充実はとても重要であると考えます。</p> <p>大切な人を自死で亡くされた人の深い悲しみや苦しみに配慮しながら、遺された人への支援についての取組を推進していきます。</p>

(2) その他

意見の 概要	<p>概要版を読んだが、きれいごとしか書かれておらず、実効性が期待できない。</p> <p>当事者の死にたい気持ちは、それまでの人生における無数の絶望の積み重ねの結果である。(40 歳代)</p>
札幌市の 考え方	<p>ご意見のとおり、自殺の背景・原因は、家庭問題、健康問題、経済・生活問題など様々であり、危機に陥った人の心情や背景への理解を深めていくことが大切と考えます。</p> <p>医療・保健・福祉・教育・労働・その他様々な分野に携わる方々との連携を深めながら、より実効性の高い取組を推進していくよう努めていきます。</p>